

会報

KAI-HOU

No.336
2018.9.18



福島の子ども保養プロジェクト「コヨット! in おおさか2018夏」

[開催報告]	2018年度第2回理事会	1
[開催報告]	夏休み文楽鑑賞のつどい	10
[開催報告]	各種研修会	11
[開催報告]	災害被災地・被災者支援企画	12
[開催報告]	第30回近畿地区生協・行政合同会議（滋賀県）	17
[お知らせ]	おおさかまるごと健康チャレンジ2018	18
[お知らせ]	協同シンポジウム 2018 in おおさか	19
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて～」	21
[スケジュール]		22

大阪府生協連 2018年度第2回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2018年7月19日(木)
15時～16時45分
- II. 場所 天王寺都ホテル 5階高取の間
- III. 出席者
(1) 理事(総数24名中、17名出席、7名欠席)
(2) 監事(総数3名中、1名出席、2名欠席)
(3) 陪席(1名出席)
- IV. 議長 タン会長理事
- V. 議事の経過と要領とその結果

定刻になり、中村専務理事より、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣した。

冒頭、平成30年7月豪雨により亡くなられた方々に哀悼の意を表し黙祷をした。

続いて、各自自己紹介の後、タン会長理事が議長として挨拶し、議事を進行した。

審議事項

1 役員報酬決定の件

柴橋副会長理事より、役員報酬について、第57回通常総会で議決された役員報酬総額の範囲内で、支給対象役員(タン会長理事、中村専務理事)に対する支給金額及び支給方法について、人事委員会での討議を踏まえ、提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

2 退任慰労金支給の件

中村専務理事より、第57回通常総会で議決された惣宇利前会長理事への役員退任慰労金の支給について、役員退任慰労金支給規則第3条に基づき、支給金額と支給の時期・方法について、人事委員会での討議を踏まえ、提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

3 顧問選任の件

中村専務理事より、人事委員会からの答申を受け、前会長理事の惣宇利紀男さんを顧問(非常勤・無報酬)とする旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

4 常任理事の互選の件

中村専務理事より、人事委員会からの答申を受け、常任理事の互選について提案がされた。また理事会3役もあらためて確認した。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

5 理事会の役割分担の件

中村専務理事より、人事委員会からの答申を受け、理事の役割分担について、提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

6 生協大会開催企画の件

小山事務局長より、生協大会の開催企画について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

7 分野別会議開催企画の件

小山事務局長より、「地域」「医療」「大学」「職域・共済」を対象とする分野別会議と、タン会長理事と女性役員との懇談会の開催企画について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

8 大阪府社会福祉協議会からの要請の件

小山事務局長より、大阪市から大阪市消費者保護審議会委員の推薦について要請があり、要請を受け足立理事を推薦する旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

報告事項

大阪府生協連

1 第57回通常総会開催報告

[日時] 2018年6月21日(木)

14時～15時40分

[場所] 天王寺都ホテル

6階 吉野西の間

[開催要領]

- (1) 開会宣言
- (2) 議長選任
- (3) 会長理事挨拶
- (4) 総会役員選任
- (5) 来賓祝辞、来賓紹介

- (6) 議事日程確認
 (7) 議案審議
 第1号議案 2017年度活動報告・決算報告・剰余金処分案承認の件
 第2号議案 2018年度活動方針・予算案承認及び役員報酬の設定の件
 第3号議案 役員選任の件
 第4号議案 役員退任慰労金支給の件
 第5号議案 議案決議効力発生の件

(8) 閉会

[出席状況]

代議員 代議員総数40名の内、出席40名
 (本人出席27名、書面出席13名)
 傍聴 43名
 来賓 8名
 理事・監事 23名

[総会役員等]

議長
 山ノ内香代議員 (大阪みなみ医療福祉生協)
 議事運営委員
 渡邊 和典 理事
 牧 圭介 代議員 (コープこうべ)
 資格審査委員
 前田 喜史 代議員
 (大阪電気通信大学生協)
 書記
 堀口 悦永 府連事務局

[議案提案]

第1～5号一括 中村 夏美 専務理事
 監査報告 関戸 雅弘 特定監事

[発言者] 4生協5名より発言

貫 恒夫 傍聴者 (大阪よどがわ市民生協)
 「大阪北部の地震における生協の被害状況と取り組み」
 吉川佐和子 代議員 (大阪いずみ市民生協)
 「SDGsをテーマとした組合員活動」
 木村 準司 傍聴者
 (大阪きづがわ医療福祉生協)
 「おおさかまるごと健康チャレンジ2018」
 近藤 智子 傍聴者 (大阪よどがわ市民生協)
 「クリスマスコンサートについて」
 末松 泰信 代議員
 (大学生協関西北陸事業連合)
 「大学生協を取り巻く状況と11月の事業連合の合併について」

[審議結果]

全議案とも原案通り賛成多数で可決承認されました。

[ご来賓]

川口 雅子様 (大阪府府民文化部 男女参画・府民協働課長)
 東中 秀成様 (大阪府市民局 区政支援室 地域安全担当部長)
 廣石 健次様 (大阪労働者福祉協議会 専務理事)
 内藤 晃様 (大阪府漁業協同組合連合会 事業部次長)
 北村 洋様 (日本生活協同組合連合会関西地連事務局長)
 中須 雅治様 (近畿労働金庫 地域共生推進室 上席専任役)
 元山 鉄朗様 (消費者支援機構関西 理事兼 事務局長)
 飯田 秀男様 (全大阪消費者団体連絡会事務局長)

2 委員会開催報告

(1) 第4回文楽・コンサート実行委員会

[日 時] 2018年7月4日(水) 10時～12時
 [場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406
 [出 席] 西岡 (センチュリー交響楽団)、安倍 (いずみ)、長尾 (よどがわ)、伊藤 (エスコープ)、松岡 (パルコープ)、白仁田 (自然派)、宮本 (生活クラブ)、羽村・米川 (かわち野)、杉安 (全労済)、長里・中村・小山 (府連)
 以上13名

[議事結果]

(1) クリスマスファミリーコンサート

- センチュリー交響楽団の西岡さんから3つのプログラム案が提案された。協議の結果、プログラム案①絵本から飛び出したクリスマスを採用することを確認した。
 - ① Humperdinck: 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」～序曲
 ドイツでクリスマスに上演されるオペラといえばという作品
 - ② 楽器紹介オーケストラの仲間たち
 毎年恒例の楽器紹介コーナー
 - ③ Bennett 編: ホワイトクリスマス
 しっとりとしたクリスマスソング
 - ④ Tchaikovsky: バレエ音楽「眠りの森の美女」組曲～第5曲ワルツ
 クリスマスにはバレエの公演も沢山。絵本と関連づけた作品から
- 休憩 (20) —

- ⑤～クリスマスの物語を語りとオーケストラで～Tchaikovsky：バレエ組曲くるみ割り人形
クラシック作品のクリスマス代表作。主人公クララが語るオリジナルバージョンを制作予定

- ⑥ Anderson：クリスマスフェスティバル
アンダーソンが讃美歌などを集めて1曲に仕上げた作品
〈アンコール〉
Anderson：そりすべり
鈴の音がクリスマスらしさを

(2) 夏休み音楽鑑賞のつどい

- チケット申込結果について確認した。
取り組み生協 13 (昨年12生協)
申込結果 11生協1,238人
(昨年12生協1,178人)
- 当選者数716人の各生協への配分方法について説明がされた。落選者及びイレギュラー対応で合計552枚割引券を発行した。
- 震災避難者招待は15席確保しているが申込が9人。最終的にあまりが出る場合は調整の上、繰上げ当選に使用することを確認した。
- 公演当日の運営について確認した。

(3) 次回日程等

第5回実行委員会は予定通り8月2日(木)10時～12時で開催し、第6回は日程を変更して、9月5日(水)10時～12時開催とした。

(2) 第3回生協大会実行委員会

[日 時] 2018年7月5日(木) 10時～12時
[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406
[出席者] 池辺 (いずみ)、加藤 (よどがわ)、谷口 (エスコープ)、松岡 (パルコープ)、牧 (こうべ)、奥村 (自然派)、木村 (きづがわ)、杉安 (全労済)、秋山・中村・小山 (府連) 以上11名

[議事概要]

- (1) 記念講演について講師を確認した。

テーマ	講演者
健康・息育 足育	今井 一彰氏： みらいクリニック院長

- (2) プログラム構成について以下確認した。

10：00 受付開始
10：30 開会・挨拶
10：35 記念講演『お口の健康～あいうべ体操～』（仮称）
12：05 活動事例報告 (@7分 3事例)

※報告中に講演の質問カード回収

12：26 今井先生から活動事例報告への講評と質問カードへのコメント

12：40 記念講演・活動事例報告終了
引き続き展示コーナー等で活動交流

14：30 閉会

○会場使用時間を1時間前倒しで延長した場合

9：45 受付開始

10：15 開会・挨拶

10：20 記念講演

11：50 活動事例報告 (@8分 3事例)

※報告中に講演の質問カード回収

12：14 今井先生から活動事例報告への講評と質問カードへのコメント

12：30 記念講演・活動事例報告終了
引き続き展示コーナー等で活動交流

- (3) 活動事例報告について以下調整することを確認した。

① 地域生協の健康をテーマとした取り組み各生協で持ち帰り検討する。報告する事例がない場合は、当日の出展内容のPRをマイクリレーで行う。

② 医療生協の健康をテーマとした取り組み医療生協内で調整する。

③ 大学生の食事情と大学生協の取り組み出来れば学生から報告いただけるように依頼する。

- (4) 活動交流の展示のテーマは自由で各生協の活動を報告交流する。前半の記念講演・活動事例報告に関わり「健康」をテーマとした活動が是非報告いただきたい。例年同様に試食・試供品の提供も要請する。次回委員会で実行委員生協の出展内容と試食・試供品(予定)を出し合う。展示コーナーのレイアウトが次回委員会で検討する。

※次回第4回実行委員会

8月8日(水) 10時～12時

(3) 第1回大規模災害対策協議会

[日 時] 2018年7月5日(木) 15時～17時

[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406

[出席者] 本多 (いずみ)、加藤 (よどがわ)、大内 (エスコープ)、宮内 (パルコープ)、新元 (自然派)、肥後 (生活クラブ)、永山 (全労済)、五藤 (関西北陸事業連)、増永 (関西地連)、梶谷 (きんき)、中村・小山 (府連) 以上12名

[議事結果]

- (1) 大阪北部地震による各生協の被害状況、今回の被災を踏まえ課題と対策について、報告・共有した。

〈主に出された課題〉

- 災害時対応マニュアルの周知
- 書棚の転倒防止、ガラスの飛散防止
- 役職員の参集対策
- 出勤難民時の対策（電車内缶詰等）
- 通信網の複線化
- 被害状況の集約と結集の体制
- 日本生協連プッシュ型支援物資の取扱い

- (2) 通信網の複線化について、今回の地震ではLineによる連絡が有効的であったので、協議会メンバーでLineを利用している者でのグループを作成した。

(4) 第1回組織活動委員会

○公開学習会「全労済 南海トラフとママ防災」

- [日 時] 2018年7月11日(水)
13時～14時30分
- [場 所] 大阪府社会福祉会館 4階402
- [出席者] 吉川（いずみ）、宮原・秋山（よどがわ）、吉田（エスコープ）、濱田・北迫・武田・吉川・高瀬・岡田（バルコープ）、牧（こうべ）、八楯（自然派）、米津（生活クラブ）、姉川（きづがわ）、増田（ほくせつ）、岡副・高西（全労済）、足立・清水・小山（府連） 以上20名

[次 第]

講師：高西 正和 様（全労済大阪推進本部）

- (1) はじめにーオリエンテーション
- (2) 南海トラフ巨大地震DVD（内閣府作成）視聴
- (3) グループワーク「OSAKA 防災タイムアタック」
- (4) 学習のまとめ

○第1回委員会

- [日 時] 2018年7月11日(水)
14時50分～16時
- [場 所] 大阪府社会福祉会館 4階402
- [出席者] 吉川（いずみ）、吉田（エスコープ）、岡田（バルコープ）、牧（こうべ）、八楯（自然派）、姉川（きづがわ）、増田（ほくせつ）、高西（全労済）、足立・清水・小山（府連） 以上11名

[議事概要]

- (1) 公開学習会の感想交流をした。
- (2) 2018年度委員会の活動テーマを「防災・減災」とすることを確認した。活動の具体化を協議した。学習啓発活動として、9月5日(水)に実施される「大阪880万人訓練」について、同訓練を活用した組合員活動時の避難訓練等を取り組めないか各生協で持ち帰り検討することとした。また防災学習施設の見学を兼ねて、第2回委員会の開催日を10月10日(水)に変更し、兵庫県の「人と防災未来センター」見学会を、委員会内学習として実施することとした（1生協3名まで参加可）。
- (3) 各生協のこの間の取り組み等について交流した。

(5) 第1回ジェンダーフォーラム協議会

- [日 時] 2018年7月18日(水)
14時～15時45分
- [場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406
- [出席者] 松本・坂井・村上（いずみ）、近藤（よどがわ）、永岡（バルコープ）、牧（こうべ）、酒井（自然派）、西浦（北大阪医療）、岡副（全労済）、羽多野・小山（府連） 以上11名

[議事概要]

- (1) 各委員より自己紹介がされた。
- (2) 委員長の互選について次回協議会で行うこととした。
- (3) ジェンダーフォーラム協議会の活動の経過について振り返り、2018年度の活動について協議し、昨年に引き続き「ワークライフバランスについて考える」を「仕事と介護の両立」にスポットをあて学ぶ。次回協議会は学習内容の具体化について協議することを確認した
 - 基本に戻り男女共同参画のあるべき姿。国際的に日本の男女共同参画の到達レベルは低いので諸外国との違いを考える。
 - ワークライフバランスは基本的なところ。働き方改革の具体化について。部下を持つ人の考え方を変えることが重要。日本の根強くある男社会に対し働き方改革に通じる視点で考える。災害被災地での女性に関わる問題について。
 - 人事総務の責任者として働き方改革法によって見直さなければいけないことを学ぶ。女性の働く現場の課題の抽出。

- 仕事と育児の両立は社会の協力が重要。社会の協力なくして女性の働き方改革はない。組合員向けに男女共同参画について考える企画。
- 仕事の介護の両立、シングルマザーの貧困、LGBT など多様性のある社会、人権などに関心がある。
- 保育の待機児童問題、女性に対する暴力やハラスメント。
- ワークライフバランスは雇用や労働環境、機会均等、処遇改善など企業、労働組合、教育など多方面に関わる。社会的な提言ができればよい。
- 親子ワイルド遊びに参加している親子を見て幸せな家庭と感じた。育児放棄問題に対し、お手伝いできること、またしてはいけないこと等を学びたい。
- 少子高齢化が進む中、職場のとなりの住宅地は、子どもの多い若い夫婦の世帯が非常に多い。普段は高齢者の利用の多い病院がインフルエンザワクチンの時は子どもであふれる。その地域の将来が楽しみ。未来に繋がり明るくなる話題も重要。しかし、地域包括ケアシステムの構築の中で、あらたな困りごと相談の導入がすすんでいる。さまざまな問題には現場での混乱が想定される。
- 振り返れば我が家の育児は将来設計や家庭内分担も特に考えず、ただがむしゃらにやってきた。仕事の介護の両立でストレスから心の病になる事例がある。

(4) 会報の「サラダボウル」の原稿作成者について協議し、9月号は羽多野委員、11月号は坂井委員が担当する。1月号はこの間の慣例からタン会長に依頼する。

第2回協議会 9月19日(水) 14時～16時

日本生協連、他生協等

3 国際協同組合デー記念中央集会参加報告

[日 時] 2018年7月10日(火) 13時～16時
 [場 所] 有楽町朝日ホール
 [主 催] (一社) 日本協同組合連携機構 (JCA)
 国際協同組合年記念協同組合全国協議会 (IYC 記念全国協議会)
 [スローガン] 協同を通じた持続可能な社会へ

[内 容]

開会挨拶：

JCA 会長・IYC 記念全国協議会代表
 全国農業協同組合中央会 (JA 全中)・
 中家徹会長

来賓挨拶：

労働者福祉中央協議会 (中央労福協) 会長
 (5分予定)
 中央労福協／日本労働組合総連合会・神津
 里季生会長 ICA 会長からの祝賀ビデオ・
 メッセージ

パネルディスカッション① (60分)

テーマ：「持続可能な社会のために JCA に
 期待される役割」

コーディネーター：田中夏子氏
 (日本協同組合学会会長)

パネリスト：

全国農業協同組合中央会
 専務理事 比嘉政浩氏
 日本生活協同組合連合会
 専務理事 和田寿昭氏
 日本労働者協同組合連合会
 理事長 古村伸宏氏
 一般社団法人全国労働金庫協会
 常務理事 安藤栄二氏
 一般社団法人日本協同組合連携機構
 代表理事専務 勝又博三氏

パネルディスカッション② (85分)

テーマ：「協同組合間連携を通じて持続可能な社会へ」

パネリスト：

かのや農林漁業協同組合連絡協議会 (鹿児島) の取り組み
 鹿児島きもつき農業協同組合
 代表理事組合長 下小野田寛氏
 NPO 法人フードバンク埼玉の取り組み
 一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会
 専務理事 永田信雄氏
 埼玉県生活協同組合連合会
 会長理事 岩岡宏保氏
 広島市の「協同労働プラットフォーム」
 事業
 日本労協連センター事業団中四国事業
 本部 本部長 竹森鉄氏
 広島県農業協同組合中央会教育・協同活動
 推進部次長兼協同活動推進課長
 慶徳敦氏 (急遽欠席)
 コーディネーター：田中夏子氏
 (日本協同組合学会会長)

コメンテーター：黒田かをり氏
(SDGs 市民社会ネットワーク代表)
閉会挨拶：
JCA 副会長・IYC 記念協副代表
日本生活協同組合連合会・本田英一会長

4 第1回協同組合連携組織全国交流会

[日 時] 2018年7月11日(水) 10時～16時
[場 所] TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター 6階Aホール
[主 催] (一社) 日本協同組合連携機構 (JCA)

[内 容]

- (1) 第1部 (午前)
 - ① ごあいさつ
JCA 代表理事専務 勝又 博三氏
 - ② JCA の機能説明と県の協同組合連絡協議会等の現状報告。
各地で行われている協同組合連携事例の紹介・報告。
 - ③ 参加者交流
- (2) 第2部 (午後)
グループワークと参加者交流
テーマ：「地域における協同組合連携を考える。」
- (3) 閉会 JCA 常務理事 青竹 豊

5 日本生協連第1回県連活動推進会議参加報告

[日 時] 2018年7月19日(水) 13時
～20日(木) 12時00分
[場 所] コーププラザ13階 特別会議室
[出 席] 43県連、日本生協連11名
[議 題]

- (1) 会長挨拶 会長 本田 英一氏
- (2) 挨拶
厚生労働省社会・援護局 地域福祉課
消費生活協同組合業務室室長
岡河 義孝氏
- (3) 日本生協連報告専務理事 和田 寿昭氏
- (4) 日本協同組合連携機構報告
常務理事 青竹 豊氏
- (5) 事業種別連合会からの報告
「2018年度の活動の重点と地域・県連活動」
 - ① 全国大学生生活協同組合連合会
 - ② 日本医療福祉生活協同組合連合会
 - ③ 全国労働金庫協会
 - ④ 全国労働者共済生活協同組合連合会
- (6) 2日目分散会

6 2018年度第1回近畿地区府県連協議会参加報告

[日 時] 2018年7月9日(月)
13時30分～16時40分
[場 所] わかやま市民生協
E*KAOホール
[出席者] 上田・中井・藤井(和歌山)、
樫尾(福井)、藤田(滋賀)、辻・
新田(奈良)、高取(京都)、
田中・大戸(兵庫)、元山(KC's)、
北村(関西地連)、浦田(近畿ろ
うきん)、中村・小山(府連)
以上15名

[議 題]

- (1) 第30回近畿地区生協・行政合同会議の開催について
開催日：8月29日(水) 琵琶湖ホテル
- (2) 各府県生協連からの活動報告および交流
- (3) 日本生協連からの活動報告・共有化事項について
- (4) 消費者支援機構関西(KC's)からの活動報告と意見交流
- (5) 近畿労働金庫からの活動報告と意見交流
※次回10月5日(金) 会場：福井県

会員及び友誼団体等

7 会員生協2017年度決算報告

(内容省略)

8 消費者支援機構関西総会報告

[日 時] 2018年6月23日(土)
13時30分～14時30分
※終了後記念シンポジウム開催
[場 所] 大阪府社会福祉会館4階401会議室
[出席] 出席表決件数 109票／表決権総数 114票
[議 案] 第1号議案 2017年度事業報告承認の件
第2号議案 2017年度決算承認の件
監査報告
第3号議案 定款変更の件
報告事項1 2018年度事業計画の件
報告事項2 2018年度活動予算の件
※全議案賛成多数で可決

〔記念企画〕

シンポジウム 14時50分～17時

報告① 「KC'sは消費者団体訴訟制度をどう活用してきたか～差止請求11年の歩みから振り返る」

報告者：五條 操 KC's 差止請求検討委員長（弁護士）

報告② 「イソフラボン事案16社へのお問い合わせ・申入れ・要請活動の取組みについて～特定適格消費者団体としての1年間を振り返る」

報告者：島川 勝 KC's 理事・被害回復検討委員長（弁護士）

グループワークについて

コーディネーター：二之宮 義人
KC's 常任理事・被害回復検討副委員長（弁護士）

グループワーク①

「事業者・業者からの反応をどのように考えるか？」

グループ発表①

グループワーク②

「今後、KC'sが被害回復の取組みをすすめていくうえで求められる課題は？」

グループ発表②、グループワークまとめ

閉会挨拶

〔場 所〕 大阪府消費生活センターセミナー室

〔出 席〕 6 団体

〔議 題〕

- (1) 調査・研究」の今後の進め方について
 - (2) 活動計画について
 - (3) その他
- ・各出席委員会報告

10 全大阪消費者団体連絡会報告

○理事会

〔日 時〕 2018年7月4日(水) 16時～18時

〔場 所〕 消団連 会議室

〔概 要〕

【報告事項】

(1) 専門委員会の活動

- ・インターネット、スマホ、SNS 等に係る連続学習会の第2回を6/26に開催、消費者被害の実相と被害防止策等を学習した。

第3回 7月18日(水) 10時～12時
ドーンセンター大会議室3

「子ども達のスマホ利用の実態は？
(大人が知っておきたいこと編)」

講師 竹内 和雄 様

(兵庫県立大学准教授)

- ・家庭から排出される水銀を含むごみの処理について、府内自治体の実態調査を実施する。

(2) 組織・財政の現況と対策

- ・機関紙サイクル 3減 6月末742部、6月度決算報告

(3) 加盟組織の活動

- ・消費税の増税を反対する関西連絡会では毎年4月に消費税廃止大阪連絡会、消費税をなくす大阪の会と共同行動を実施している。両団体から消費税増税実施に対し、9月に共同行動をと申入れがあった。集会とでも行進を検討している。

(4) その他

- ・国土交通省から同省の「都市鉄道における利用者ニーズの高度化等に対応した施設整備促進に関する検討会」の中間とりまとめに関し、ヒヤリングの申入れを受けた。駅のバリアフリー化と利用者負担、遅延・混雑対策と利用者負担について意見する。

【協議事項】

- 1) 総会議案の準備について

9 なにわの消費者団体連絡会報告

○15回総会

〔日 時〕 2018年6月28日(木)
10時30分～11時30分

〔場 所〕 大阪府消費生活センターセミナー室

〔出 席〕 6 団体

〔議 題〕

来賓あいさつ

大阪府消費生活センター所長 濱本慶一様
議案審議

第1号議案 平成29年度活動報告・決算報告・監査報告

第2号議案 平成30年度活動計画案・予算案

第3号議案 役員選任の件

全議案採択されました。

※岸和田市消費生活研究会、コープ自然派おさかの2団体が2017年度を以って脱退されました。

○6月度幹事会

〔日 時〕 2018年6月28日(木)
11時40分～13時

- 2) 機関紙の編集・拡大等について
- 3) 8月度運営会議の対応について
- 4) 大阪府消費者教育推進協議会設置に係る要望について
- 5) 大阪市消費者保護条例の不当取引行為の指定の一部改正に係る意見募集への対応について

- ボランティアの体調管理
- (5) 前日のゆめ風基金の会議から情報提供
- (6) 大阪府より
- (7) その他情報提供

11 おおさか災害支援ネットワーク報告

大阪北部地震に対し、おおさか災害支援ネットワークでは、発災当日6/18～6/20に緊急の世話役会議を開催し、6/21からは①支援活動(予定)の共有、②支援活動の課題の共有と解決策の意見交換、③必要に応じた連携促進を目的に、大阪北部地震に支援に関わる団体等の参加により「災害時連携会議」を開催しています。

〈災害時連携会議〉

○第1回

[日 時] 2018年6月21日(木) 19時～21時
[場 所] 日本赤十字社大阪府支部 会議室302・303

[参 加] 36団体

[概 要]

- (1) おおさか災害支援ネットワーク概要と災害時連携会議の目的の共有
- (2) 各団体の活動状況を報告
- (3) 課題の共有
 - ブルーシート雨漏り、長期化の対応
 - 情報格差
 - 留学生対応
 - 見守り、心のケア
 - 空家問題
 - 障がい者対応
 - 社協職員の疲労

○第2回

[日 時] 2018年6月23日(土)
19時～21時20分
[場 所] 日本赤十字社大阪府支部
会議室301

[参 加] 38団体

[概 要]

- (1) 会議の目的の共有
- (2) 前回出された課題などの共有
- (3) 初参加団体自己紹介
- (4) 地域ごとの情報共有
 - 潜在ニーズの掘り起こし(要支援者、外国人、障がい者)
 - 法律免で説明できる現場体制
 - 地元事業者との連携

○第3回

[日 時] 2018年6月25日(月) 19時～21時
[場 所] 関西大学 高槻ミュージックキャンパス

西館2階マルチミーティングルーム

[参 加] 47団体

[概 要]

- (1) 会議の目的の共有
- (2) 初参加団体自己紹介
- (3) 地域ごとの情報共有
- (4) 新たな課題
 - がれき等のゴミ処分
 - ボランティア活動保険の加入コース
 - 要援護者名簿に掲載されていない要援護者への支援

○第4回

[日 時] 2018年6月27日(水)
19時～21時15分
[場 所] 茨木市福祉文化会館(オークシアター) 3階302

[参 加] 47団体

[概 要]

- (1) 会議の目的の共有
- (2) 初参加団体自己紹介
- (3) 地域ごとの情報共有
- (4) テーマ別情報交換
 - ブルーシート張りなど技術系
 - 災害ボランティアセンター関連
 - スペシャルニーズ対応

○第5回

[日 時] 2018年7月2日(月) 19時～21時
[場 所] 茨木市福祉文化会館(オークシアター) 3階302

[参 加] 30団体

[概 要]

- (1) 会議の目的の共有
- (2) 初参加団体自己紹介
- (3) 活動テーマごとの報告
 - 災害ボランティアセンター
 - 技術系
 - 要配慮者支援
- (4) 活動を通しての課題、質疑応答や検討
- (5) その他情報共有など

○第6回

[日 時] 2018年7月5日(木)
19時～20時20分
[場 所] 茨木市福祉文化会館（オークシ
アター）3階302

[参 加] 26団体

[概 要]

- (1) 会議の目的の共有
- (2) 初参加団体自己紹介
- (3) 活動テーマごとの報告
 - 災害ボランティアセンター
 - 技術系
 - 要配慮者支援
- (4) 活動を通しての課題、質疑応答や検討
- (5) その他情報共有等

○第7回

[日 時] 2018年7月12日(木)
19時～20時35分
[場 所] 茨木市福祉文化会館（オークシ
アター）2階202

[参 加] 25団体

[概 要]

- (1) 会議の目的の共有
- (2) 初参加団体自己紹介
- (3) 活動テーマごとの報告
 - 災害ボランティアセンター
 - 技術系
 - 要配慮者支援
- (4) 活動を通しての課題、質疑応答や検討
- (5) その他情報共有等

※第8回は7月19日(木)19時からコープこうべ
ふれあいセンター高槻で開催。

夏休み文楽鑑賞のつどいを開催しました

7月27日(金)、「夏休み文楽鑑賞のつどい」を大阪府中央区の国立文楽劇場で開催しました。

「夏休み文楽鑑賞のつどい」は、日本の文化・芸能の普及を目的に、大阪発祥の伝統芸能「文楽」を身近に感じていただく機会として、国立文楽劇場が、夏休みに実施している夏休み文楽特別公演「親子文楽」を、大阪府生協連の買取り公演として開催しています。1993年から開催し今年で26回目となりました。

例年、定員を上回る申込みをいただき抽選となる大人気の企画です。

今年の企画は、女の子とまねっこ好きの妖怪との物語「瓜子姫とあまんじゃく」、文楽人形の操作方法を説明する「解説 文楽ってなあに?」、二つ目の演目では、京の都につたわる伝説をもとにした武士と悪鬼の対決「増補大江山」を上演しました。

[上演内容]

『瓜子姫とあまんじゃく』

『解説 文楽ってなあに?』

『増補大江山』



瓜子姫とあまんじゃく*



増補大江山*

*イメージ画像です。今回上演のものではありません。



解説 文楽ってなあに?



毎年人気の企画です。

※「夏休みファミリーコンサート」は、今年は12月25日(火)に「クリスマスコンサート」として開催します。

各種研修会を開催しました

【社会福祉問題研修会】

7月25日(水)、大阪府社会福祉会館にて、2018年度「社会福祉問題研修会」を開催しました。7会員生協等から53名が参加しました。

今年度の研修会は、豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長の勝部麗子様をお招きし、豊中市におけるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）としての実践を、「全てのことは孤立化からはじまる」とし、地域で孤立化させないための、個別訪問・ローラー作戦、空き家を使ったサロン、何でも相談、食事サービス、男性の参加促進の取り組みとして野菜作り・豊中あぐり、マンションサミット、子どもの居場所づくり、福祉便利屋事業など、多種多様な活動事例について、「一人もとりこぼさない」「全ての人に居場所と役割を」「支えられた人が支え手に」「排除から包摂へ」を大切に取り組んでいることなどについてお話いただきました。



豊中市社会福祉協議会
福祉推進室長 勝部 麗子さん

【第1回理事・監事研修会】

8月1日(水)、大阪府社会福祉会館にて、2018年度の「第1回理事・監事研修会」を開催しました。9会員生協から54名が参加しました。

今回の研修会は、「生協法の基礎」をテーマに、改正生協法の施行から10年となり、あらためて生協法から生協の目的や事業、期間運営やガバナンスについて学ぶことを目的としました。講義の前には、大阪府の生協担当者から、生協検査による主な指摘事項や個人情報の適正管理について報告がありました。

本題の「生協法の基礎」講義は、日本生協連 総合マネジメント本部 法務部 弁護士の下川慶子さんを講師に、「生協と生協法・定款」「生協法の構成」「総則」「事業」「組合員」「機関運営」「決算関係書類等」「登記・行政の監督・罰則」の項目でお話いただきました。

講義の後は、個人演習とグループ感想交流で講義をより深めました。

次回第2回は10月3日(水)に「購買生協の会計・決算書類の見方・経営分析」、第3回は10月29日(月)に、「医療生協のガバナンス・会計・経営分析の基礎」をテーマに実施します。



「生協法の基礎」
日本生協連 総合マネジメント本部
法務部 弁護士 下川 慶子さん

「西日本豪雨」「東日本大震災」「熊本地震」の 被災地・被災者支援の取り組み

【西日本豪雨】

西日本豪雨災害ボランティアバス

8月4日(土)、西日本豪雨災害ボランティアバスを運行しました。会員生協の常勤役職員を参加対象にし、急な呼びかけにも関わらず、大阪いずみ市民生協10人、大阪よどがわ市民生協10人、おおさかパルコープ6人、ほくせつ医療生協1人に、事務局2人の総勢29人で運行しました。

午前6時にJR大阪駅近くに集合し出発。途中の高速道路SAで朝食、昼食を購入し、9時過ぎに倉敷市災害ボランティアセンター（VC）本部到着、団体受付を済ませ、災害VC真備サテライトに寄って、要請があり購入した作業用資機材を寄贈しました。その後、災害VCミニサテライトに行き、活動のマッチングをしてもらい活動をしました。

一部活動箇所の変更等もあり、全体的には少ない活動時間ではありましたが、家の土壁の撤去、廃棄物の集積場への運搬、土の土嚢詰めと運搬等の活動をしました。現地ではまだ大量の廃棄物の処理が残っており、復旧にも多くの人的・物的支援が必要であると感じました。

9月8日(土)岡山県倉敷市に、9月23日(日)～24(月)広島県にボランティアバスを運行します。(9月8日のボランティアバスは台風21号の被害等により延期しました。)



【東日本大震災】

① お盆里帰りバス

東日本大震災により、近畿圏で避難生活をされている方への支援として「お盆里帰りバス」を実施し、8組19名に利用いただきました。8月10日(金)夜9時に大阪府社会福祉会館を出発し、東京駅前～JRいわき駅前(福島県)～JR郡山駅前(福島県)を經由して、終点のJR仙台駅前に11日の午後4時に到着しました。帰りは、15日(水)の午後2時にJR仙台駅前を出発し、行きとは逆のルートで經由し、東京駅前を午後10時過ぎに出発、翌16日(木)朝5時過ぎに大阪駅に到着しました。行きのバスは、帰省渋滞や事故の影響で予定時間より遅れましたが、帰りのバスは順調に進みました。車内ではビンゴゲームや、帰省中どのように過ごされたのかなどのお話など交流をしました。

この企画には、ボランティア6名、事務局2名が添乗しました。バス利用者が帰省等をされ

ている間、8月12日(日)は、宮城県南三陸町志津川天王山地区で南三陸町社会福祉協議会と共催し交流会を開催しました。大阪府生協連からは、たこ焼、アイスクリーム、ぷよぷよボールつり、バルーンアートの模擬店と、ビンゴゲームをしました。模擬店の運営とビンゴゲームの景品は、みやぎ生協にご協力いただきました。盆踊りもあり、約200名の参加で盛り上がりしました。8月13日(月)は語り部さんの案内で、南三陸町の被災地と石巻市の大川小学校跡地を回りました。また女川町の新しい町並みを見学しました。8月14日(火)は、福島県福島市でかぼちゃ畑での農作業のお手伝いなどの活動をしました。

今回をもって里帰りバスは終了いたします。2013年度から実施し8回開催、のべ188名のご利用と、のべ36名のボランティアに協力いただきました。



8/15(水)夜 東京駅前



南三陸町での交流会



震災遺構の見学



大川小学校跡地

② 福島子ども保養プロジェクト「コヨット！ in おおさか2018夏」

福島県から小学生4～6年生17名をお招きし「コヨット！ in おおさか2018夏」を開催しました。

動物園&水族館、ウェルカムレクレーション&たこ焼きパーティ、水上バス観光、からだのひみつ大冒険、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンと、大阪で元気いっぱい、あそびました。



■スケジュール

8月18日(土) 夜、福島県郡山市を出発

8月19日(日) 朝、大阪着。午前は動物園&水族館(ニフレル)、大観覧車。午後は大阪樟蔭女子大学の生協食堂でウェルカムレクレーション&たこ焼きパーティ

- 8月20日(月) 午前は水上バスで大阪観光。午後はからだのひみつ大冒険
8月21日(火) ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで遊ぶ
夜、大阪出発
8月22日(水) 朝、福島県郡山市到着・解散

【8月18日(土)】 バスで大阪へ！

8月18日(土) 夜9時に福島県のJR郡山駅前を大型バスで出発し大阪へ。自己紹介などの後、就寝。



【8月19日(日)】 動物園&水族館、ウェルカムレクレーションとたこ焼パーティ！

朝5時過ぎに、名神高速道路の多賀サービスエリア（滋賀県）に到着し、洗顔、朝食の休憩をとって再出発。8時30分頃に、新大阪駅近くにある今回の宿舎「新大阪ユースホステル」に到着。大学生スタッフと合流し、バスを乗換えて万博記念公園の隣にある動物園と水族館が一緒になった屋内施設「ニフレル」に行き、動物とふれあいました。お昼休憩の後、大観覧車に乗って大阪を一望。その後、バスで大阪樟蔭女子大学に移動し、大学生の企画・運営で、ウェルカムレクレーションと夕食でたこ焼パーティをしました。



【8月20日(月)】水上バスと、からだのひみつ大冒険！

水上バスで大阪市の中心地を流れる大川、寝屋川、土佐堀川を約1時間周遊。川辺を歩く人たちに手を振り、たくさんの人が振り替えしてくれました。大阪南港に移動し、この夏休みの期間に開催されている「からだのひみつ大冒険DX2018」に行き、色んなアトラクションで自分たちの体の中の仕組みを勉強しました。



【8月21日(火)】USJ (ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)！

6時に起床し、出発の用意をすませ朝ごはんを食べて7時50分にホテルを出発。小グループに別れ、新大阪駅から朝の通勤ラッシュの電車に乗って、ユニバーサルシティ駅に到着しました。夕方までグループ別に自由行動です。たくさんの人の中、各グループで工夫し、アトラクションをまわり、おみやげも購入し、夕方5時30分まで遊びました。USJで遊んだ後、すぐ近くの新日鐵住金製鋼所に行き、社員の方が使われている浴場と食堂をお貸しいただき、お風呂と夕食をとりました。夕食後は最後の荷物の整理と、感想用紙を書きました。9時前に製鋼所を出発。最寄りの駅前で学生スタッフとお別れをしました。



【8月22日(水)】福島県郡山市に到着！

バスでぐっすり寝て、予定より少し早めの6時半ごろに郡山駅前に到着しました。お迎えが来た子どもから順番に家路へ、無事解散・終了しました。



【熊本地震】

南阿蘇村での映画会であこ焼き

熊本地震の被災者支援活動として、8月25日(土)・26日(日)の二日間、南阿蘇村役場を会場に、映画上映とゲームや食べ物の模擬店による映画会が、生協くまもと、日本生協連・笑顔とどけ隊、熊本県生協連が共催され、大阪府生協連からは5名の大学生ボランティアとたこ焼き模擬店で参加しました。

両日とも天候にも恵まれ、たくさんの方が来られ、二日間で370人前のたこ焼きを作りました。生協くまもとの組合員ボランティアさんや、日本生協連やコープ共済連の方達も、たこ焼づくりに協力いただきました。

あつあつで、外はカリッ、中はトロトロのたこ焼きが大好評でした。



第30回近畿地区生協・行政合同会議を開催しました

8月29日(水)、滋賀県の琵琶湖ホテルにて、「第30回近畿地区生協・行政合同会議」を開催しました。近畿地区の福井県の7生協府県連と各府県の生協担当者が一堂に介し、生協を取り巻く状況や地域における課題等について共有し、パートナーシップをより深めることを目的に開催しています。

会議は、近畿地区2府5県の生協府県連で構成する「近畿地区生協府県連協議会」が主催し、各府県の持ち回りで年1回開催、今年で30回目を迎えました。

今年度は、「安心してらせる地域社会づくりをめざして～誰一人取り残さない社会の実現に向けて～」をテーマとしました。主催者を代表して、近畿地区生協府県連協議会代表である兵庫県生協連の木田会長理事から挨拶があり、続いて開催地を代表して、滋賀県の浅見県民生活部長より歓迎のご挨拶がありました。

その後、厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 消費生活協同組合業務室の佐藤生協検査官からのご挨拶と行政と生協の一層の連携のお願いがありました。続いて日本生協連から、全国の生協の状況等について、松本渉外部長より報告いただきました。

そして、特別講演として「地域まるごとささえあう みんなの居場所とは『地域共同ケア』のススメ」と題して、関西学院大学人間福祉学部の藤井教授より、地域福祉づくりの実践事例から求められる地域福祉や生協への期待などについてお話いただきました。

特別講演の後には、各府県の特長的な取り組みの紹介として、奈良県生協連からは、「奈良県における生協と社会福祉協議会とお連携～子ども食堂ネットワークの取り組みを中心に」について、京都府消費生活安全センターと京都府生協連から「京都府エシカル消費推進ネットワークの取り組みについて」、滋賀グリーン購入ネットワークから「滋賀グリーン購入ネットワーク活動紹介～ひろげよう！『買う』から始めるSDGs」について、また消費者支援機構関西(KC's)から報告いただき意見交換しました。



おおさかまるごと健康チャレンジ 2018

今年は



にチャレンジ!

インターネット上から
チャレンジ登録
できます

ネットからのお申し込みはこちらから

🔍 おおさかまるごと健康チャレンジ



2017年度、「地域まるごと健康づくり」をめざし大阪府生活協同組合連合会が取り組んだ「おおさかまるごと健康チャレンジ2017」は、大阪府・大阪市、大阪府教育委員会・大阪市教育委員会をはじめとする多数の自治体や教育委員会、JAの後援もいただき、8500名以上が参加しました。

「生活習慣、運動習慣を身につけるよいきっかけになった」「自分の健康のみならず、家族の健康も含めて考え、健康づくりを工夫した」「健康になったことが実感でき、継続への意識づけになった」などの積極的な感想が多数寄せられました。

3年目の2018年度はこの経験を踏まえて、「健康で元気に暮らしていきたい」という組合員、地域住民にとってより魅力ある取り組みに発展させ、健康チャレンジャーを更に広げ、大阪府下1万人を目指しましょう☆



生協大会で「あいうべ」体操 今井一彰先生が記念講演

あいうべ体操って何？

…口と鼻は病気の入り口

口呼吸の改善は、あらゆる病気の原因治療につながります。「あいうべ体操」をしっかりと継続している人は、自然に鼻で呼吸ができるようになります。

☆こういう方におすすめです。

◎口がいつも開いている

◎何となく疲れやすい、だるい、やる気が起きない

◎手軽に、いつでもどこでも出来る健康法が知りたい
健康チャレンジ「Cコース あいうべ体操」に登録、チャレンジしてみましょう!

日時 11月21日(水) 10時開会

会場 大阪府立男女共同参画

青少年センター「ドーンセンター」

(京阪「天満橋」谷町線「天満橋」

①番出入口から東へ約350m)

記念講演「食べることで歩くことが出来れば人生は幸せ」

みらいクリニック院長 今井 一彰さん

詳しくは、お近くの医療福祉生協まで

協同シンポジウム2018 in おおさか～SDGsで誰もほっとかへん社会へ

国連広報センター 所長
根本かおるさんと

日本協同組合学会 会長
田中夏子さんと



一緒に考える
“誰もほっとかへん社会”

2018年10月13日(土)

13時15分～16時30分 (12時45分受付開始)

入場無料

キーノートスピーチ1「誰も置き去りにしない! SDGsを自分事化して、世界を変革する」

スピーカー……根本かおるさん (国連広報センター 所長)

キーノートスピーチ2「協同組合が、SDGsに取り組む際の意義、可能性、課題」

スピーカー……田中 夏子さん (日本協同組合学会 会長)

会場 新大阪丸ビル別館 (大阪市東淀川区東中島1-18-22)

※アクセス: JR京東線「新大阪」駅東口より徒歩約2分、

地下鉄御堂筋線「新大阪」駅⑥出口より徒歩約8分

対象 生活協同組合の理事・職員・組合員、近畿労働金庫の理事・

職員・会員団体・組合員、一般に関心のある人などなたでも

定員 200人



【主催】大阪府生活協同組合連合会・近畿労働金庫大阪地区本部

【後援】大阪府、大阪市、堺市、朝日新聞社、毎日新聞おおさか支局、読売新聞社、産経新聞社、NHK大阪放送局、国際労働機関(ILO)駐日事務所、日本協同組合連携機構(JCA)、大阪府農業協同組合中央会、大阪府漁業協同組合連合会、大阪府森林組合、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会、社会福祉法人堺市社会福祉協議会

【協力】大阪労働者福祉協議会、全労済関西統括本部大阪推進本部、近畿勤労者互助会、特定非営利活動法人関西NGO協議会、社会福祉法人大阪ボランティア協会(事務局)



協同シンポジウム2018 in おおさか ～SDGsで誰もほっとかへん社会へ

■プログラム■

2018年10月13日(土) 13時15分～16時30分

キーノートスピーチ1

「誰も置き去りにしない! SDGsを自分事化して、世界を変革する」
スピーカー…根本 かおるさん(国連広報センター 所長)

SDGsとは何か、どのような背景で生まれてきたのか、どのような未来へ向かおうとしているのか、SDGs達成に向けて生協や労金など協同組合への期待、また協同組織が大切にしている協同・連携はSDGs達成に有効であることなどについてお話しいたします。

キーノートスピーチ2

「協同組合が、SDGsに取り組む際の意義、可能性、課題」
スピーカー…田中 夏子さん(日本協同組合学会 会長)

生協や労金など協同組織のありたい姿や課題意識とSDGsを関連づけて、どのような実践事例があるのか、今後に期待される取組み、また協同組織が大切にしている協同・連携はSDGs達成に向けてどれだけ有効であるのか、その可能性と課題などについてお話しいたします。

バズセッション

「SDGs達成に向けて、自分が・組織が取り組めること」

SDGs達成に向けて、自分が・組織が取り組めることについて、グループで意見交換をし、全体で共有します。

【協同シンポジウムの経緯と趣旨】

「2012国際協同組合年」を契機に、日本においても協同組合間協同の機運が高まるなか、生協と労金の連携強化をさまざまに進めてきました。そのような中、連携・協同の姿を内外に形として示し、生協運動・労金運動への共感と信頼を高めるべく、「協同シンポジウム」を2013年より毎年開催してまいりました。第6回

となる2018年は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」と協同組合が果たす役割をテーマに取り上げて、双方の運動の機運を一層高める機会とするとともに、協同セクターや労働団体、NPO、ボランティア等の活動を共有し、連携について考えます。

■参加申込方法■

ウェブ用申込みフォーム (<https://ws.formzu.net/fgen/S42285957/>) または、QRコードからお申込みいただけます。

あるいは、下記ファックス用申込みフォームに必要事項をご記入のうえ、ファックスまたはメールにてお申込みください。

お問合せ06-6809-4901(大阪ボランティア協会 担当:船越・永井)



根本かおるさん
(国連広報センター 所長)

東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコディネーターを担当。WFP国連世界食糧計画広報官、国連UNHCR協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。著書に「難民鎖国ニッポンのゆくえー日本で生きる難民と支える人々の姿を追って」(ポプラ新書) 他。



田中 夏子さん
(日本協同組合学会 会長)

東京生まれ。慶應義塾大学社会学研究科修士課程修了。長野県佐久市にて農園VENTO E TERRA(風と土) 園主。協同総研理事、長野県高齢者生協理事、日本協同組合学会会長(2017.10～2019.9)。2013年から農ある暮らしを志して、27年間の雇用労働からひとまず撤退し、現在は循環型農業+協同組合研究・実践の2足の草鞋に挑戦中。イタリアや日本の社会的協同組合(社会的排除と闘う活動)やコミュニティ協同組合(地域資源を軸とした、中山間地の地域再生)、ワーカーズ・バイアウトによる事業再生(労働者による自主管理運動)を研究。

「協同シンポジウム2018 in おおさか」ファックス用申込みフォーム

※お一人ずつお申込みください。送り状は不要です

所属			
氏名	ふりがな		
メールアドレス	電話番号		
備考	(連絡事項のある方、配慮が必要な方はご記入ください)		

※お申込みいただいた個人情報、本シンポジウムの運営についてのみ使用いたします。

FAX:06-6809-4902(大阪ボランティア協会気付) E-mail:office@osakavol.org

サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

未来の町～期待して

気の早い話ですが、箕面病院では、猛暑の夏が過ぎるとインフルエンザワクチンの準備をします。小児科は標榜していませんが箕面市の予防接種委託医として協力し、小児の定期ワクチンは日々予約で受け付けています。ここ数年のことですが毎年のように、インフルエンザワクチンが足りる？足りない？の不安定な情報に振り回されてきました。さて今年はどうなることでしょうか？当院での昨冬のインフルエンザワクチン接種時の情景をお話したいと思います。平日は大体お母さんと一緒に学校・幼稚園が終わる午後2時から、土曜日はお仕事がお休みのお父さんが、或いはお父さんお母さんが一緒に来院され、多い日は100人近い親子にもなりました。お母さんと一緒にの子は泣きべそ顔や不安顔、泣き声も大泣きです。時には妙な雰囲気だけニコニコ顔もいます。一方土曜日組みはお父さんと一緒に多く、少し緊張気味で顔を伺いながら泣きかたも賑わいかたも違ってきます。

この時期だけはいつも静かな当院の待合室が賑やかで活発な外来となり、スタッフも張り切って対応します。昨冬は1963名（内13歳未満のべ689名）の接種でした。

何故このようなことをご紹介しているかと申しますと、箕面病院は地域医療ひとすじに創立53年が経過。箕面市止々呂美地区に在る医療療養病床（199床）の病院で高齢者が多く入院されています。現在も100歳以上のかたが3名療養中です。無医村の地に創設され、山と緑に囲まれた環境に位置しています。（今年の大阪北部地震、西日本豪雨災害で警報や避難指示が出され、全国的に箕面市止々呂美地区が有名になり皆さんにも大変ご心配をおかけしました。）出来るだけ在宅に帰って頂きたいと（地域包括ケアシステムの推進）リハビリを重視した治療で患者さんを在宅復帰へと支援します。

その箕面病院の裏山側に10年前から、大阪府用地に箕面森町という団地が開発され、たくさんの若い家族が住まわれるようになり、前述の情景になるという訳です。

住民基本台帳によると平成29年12月現在、1058世帯、3457人が住まわれています。年代別人口では18才以下が40%、働き盛りの30～40代が44.4%、なんと70才以上は2.2%という若い町です。当院にも看護師、介護士、薬剤師、理学療法士などの多職種の方が勤務していただき人手不足解消の恩恵を受けています。職員情報に拠るとお子さんは3人～4人の家族が多く少子化を憂いている今の日本の人口構造から見ると明るい町づくりが期待できそうです。

箕面市の人口は13.8万人。市の重点施策を拝見すると、子育てしやすさ日本一を掲げ、子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整えると広報しています。若い人が集まる理由に、環境の良さと行政の施策が魅力なのかもしれませんね。以下その内容を紹介します。

- 1 子どもを見守る体制の見直しと強化
 - 2 通年の待機児童ゼロの取り組みの継続
 - 3 国際感覚を養う英語教育と環境整備
 - 4 タブレットパソコン一人1台配備と学校ICT環境の整備
 - 5 学校施設の増改築と船場の新学校設置にむけた取り組み
 - 6 きめ細やかな子育て支援（平成30年度）
- まだまだ開発途中です、専門学校も出来、企業誘致、スーパーも予定されています。

思い起こせば30年前に、私自身もある新しい団地に住まいを求め、期待と夢をもって家族と移りました。私の世代では男親は仕事、女親は家事、子育てが当たり前です。

夫が（夫だけで）子どもの受診に付き添うなど考えられませんでした。私はフルタイムで仕事をしていましたが、私自身が子育ては母親の役割としか思っていなかったのです。

箕面森町の若い住民の皆さんはきっと新しい家族のすがたで暮らしていらっしゃると思います。高齢化率の高い止々呂美地域と、若い箕面森町の真中に在る箕面病院は、今後の医療活動を広め、若い層の組合員増に繋げていくのか？古くて固くなった私の頭をほぐしながら、皆なで日々対策を練っている毎日です。

スケジュール

9月

- 5日 第6回文楽・コンサート実行委員会
- 18日 会報 No336発行
- 19日 第2回ジェンダーフォーラム協議会
- 23日 第2回西日本豪雨災害 被災地支援ボランティアバス（～24日）
- 27日 第2回関西地連運営委員会・県連活動推進会議
- 28日 消費者支援機構関西理事会

10月

- 3日 第2回理事・監事研修会
- 5日 第2回近畿地区生協府県連協議会
- 10日 第2回組織活動委員会
- 11日 第3回理事会
- 13日 協同シンポジウム 2018 in おおさか
- 29日 第3回理事・監事研修会
- 31日 消費者支援機構関西理事会

11月

- 14日 第3回ジェンダーフォーラム協議会
- 15日 会報 No337発行
- 21日 生協大会・第5回生協大会実行委員会
- 22日 第3回大規模災害対策協議会
- 29日 第3回関西地連運営委員会・県連活動推進会議